

# あがたい 縣居翁・賀茂真淵は郷土の誇り、日本の宝

## ご挨拶

賀茂真淵翁遺徳顕彰会 会長 山下智之

賀茂真淵の誕生した佳き月を迎えました。皆様には当会への格別なご理解とご高配を賜り心より御礼申し上げます。

ただ今、NHKで放映されている大河ドラマは、紫式部の一生を描く「光る君へ」です。

紫式部は最古の長編小説「源氏物語」の作者ですが、源氏物語の注釈書というと本居宣長の『源氏物語玉の小櫛』があります。宣長の師である賀茂真淵にも田安家に伝わった北村季吟の『湖月抄』延宝元年（一六七三）刊を書き入れして著した『源氏物語新釈』があります。

続群書類従完成会版の「賀茂真淵全集」の第十三巻には、「源氏物語別記」「源氏物語新釈考」「源氏物語新釈」上、第十四巻「源氏物語新釈」中とそれぞれ詳しく解説されています。

また『源氏物語』全五四帖の中で詠まれた七九五首の作中歌は一部万葉集を参考にしています。

### 二帖 帚木

（引用文）あるまじき我が頼みにて見直したまふ後瀬をも、思ひたまへ慰めましを、

（万葉集）かにかくに人は言ふとも若狭道の後瀬の山も後に逢はむ君 大伴坂上大嬢 巻四・七三七

### 四帖 夕顔

（引用文）あさけの姿は、げに、人のめできこえんもことわりなる御さまなりけり。

（万葉集）我が背子が朝明の姿よく見ずて今日の間を恋ひ暮らすかも 柿本人麻呂歌集 巻十二・二八四一

『源氏物語』を読みながら、真淵が求めたものを想像すると楽しいかもしれません。

### マンガで読む「賀茂真淵先生」復刻(改訂版)

平成二四年三月に発行しましたマンガで読む浜松の偉人「賀茂真淵先生」を改訂、二千部作成いたしました。

本は縣居神社事務所、賀茂真淵記念館、万葉の森公園などにて無料で配付しております。



## 賀茂真淵翁を知ろう(14) 真淵と源氏物語

『源氏物語』は成立当初から人々に愛され、以後多くの知識人に読み継がれ、その中で様々な見方が生まれてきました。では、真淵は源氏物語をどのように評価していたのでしょうか。真淵の文学研究の中に『源氏物語新釈』があります。これは『湖月抄※』に書き入れる形式で注釈がなされているものですが、そこから真淵が考える和歌の理想が読み取れます。

中世以来、歌学において源氏物語は和歌に資する古典と捉えられており、源氏物語を創作の題材として重んじる姿勢は、和歌だけでなく俳諧でも広く見られました。しかし、真淵は次のような評価をしていました。「源氏物語はたみるべし。こはこころことばも後の世によれるものにて、心むつかしくかしこげにくるしきさましたれど、ことばの中にいとよきもありて、後の人は歌にとりてよみぬるも、女などはよきなり。このものがたりは、うたも同じくことの心めぐり過、いとむつかしげなるところをばまねぶことなかれ。」

歌を詠むために源氏物語を読むことすすめ、そこにはすぐれた「ことば」があると評していますが、女性にはと限っています。また、「むつかしくかしこげに」

「心めぐり過ぎ」と評しているように、文章が持つ過剰性を批判しています。なお、真淵はその後『源氏物語新釈考』で、源氏物語は人情を非常によく描いているとも評しています。

真淵は和歌を批評するとき、『万葉集』以後、時代が下がるほどに技巧的になり素直な心情を失っている点を取りわけ指摘していますが、源氏物語についても、「人の心」をよく表しているという点では評価しつつも、その表現が心の動きをつぶさに説明し尽くしてしまっていることについて批判をしています。

さて、これに対し本居宣長は源氏物語をどう評価したのでしょうか。「やまと、もろこし、いにしえ、今、ゆくさきにも、たぐふべきふみはあらじとぞおぼゆる」この物語以上の本はどこにもないし、これからも出てこない」と評価しています。状況を少ないことばで描写し心情を醸し出すことを理想とした真淵と、心情をありのままに詠むとともにことばをととのえ表現を工夫することも大切だと考えた宣長との相違が、源氏物語の解釈にもあらわれています。

※ 湖月抄 北村季吟が著した（1673年）源氏物語の注釈書

## 活動報告

### 縣居神社「新年祭」

令和6年1月1日元旦

今年もたくさんの方々とともに「立志の丘」からきれいな初日の出を拝むことが出来ました。



### 研修会《小國神社・天宮神社参拝》 令和6年1月19日

小國神社宮司 打田文博様の説話

【講師】森町歴史伝統文化保存会会長 北島恵介様  
講話「小国重年※について」

※ 江戸時代後期の国学者、真淵や本居宣長の学統を受け継いだ遠江の国学の大成者



### 生誕祭・講演会 《生誕祭》令和6年3月4日 《講演会》3月7日

【講師】賀茂真淵記念館学芸員 池谷昭広先生  
演題「逸話とともに賀茂真淵の即席をたどる」



## 令和5年度 事業報告

- 令和5年5月29日 代議委員会 (R4 会計・事業報告 R5 予算案・事業計画)
- 令和5年8月28日 理事会 (理事追加承認 活動状況報告と今後の計画)
- 令和5年10月30日 例大祭 (横山特別顧問・山下会長・理事5名参列)
- 令和5年12月4日 理事会 (活動状況報告と今後の計画 課外研修計画)
- 令和6年1月1日 新年祭
- 令和6年1月19日 課外研修 真淵ゆかりの地「小國神社・天宮神社」訪問
- 令和6年3月4日 生誕祭齋行 (理事参列)
- 令和6年3月7日 理事会 (R5 会計報告・事業報告) 講演会

会長による外部セミナー (南陽協働センター) 他  
マンガ「賀茂真淵先生」復刻(改訂版)作成・配布